

エコアクション21

# 2022年度 環境経営レポート

対象期間 2022年4月1日～2023年3月31日

発行日

2023年5月25日

株式会社 サン電材社

株式会社 **サン電材社**



**TOKAI RIKAI GROUP**

# 株式会社サン電材社 2022年度環境経営レポート 目次

1.環境経営方針	.....	2
2.事業概要	.....	3
3.実施体制		
① 組織図	.....	4
② 役割と責任、権限	.....	5
4.環境経営目標と実績		
① 環境経営目標と実績	.....	6・7
② 2022年度実績対比および達成状況	.....	8・9
定性目標にかかる活動と成果	.....	10
③ 2022年度 評価と要因分析	.....	11
④ 2023年度環境経営目標（単年度）		
1) 全社目標	.....	12
2) 本社目標 および 3) 音羽事務所 目標	.....	13
5.環境経営計画	.....	14
6.中期環境経営目標	.....	15
7.環境改善事例	.....	16
8.法規・法令順守状況	.....	17
9.外部コミュニケーションの記録	.....	18
10.代表者による全体評価と見直し	.....	19

# 株式会社サン電材社 環境経営方針

## ① 環境への取り組み 基本方針

- 1.社会の一員として、環境への取り組みを全社一丸となり進めます。
- 2.法・地域や顧客との約束を守り、さらに自主目標を定め、  
環境汚染の未然防止を進めます
- 3.環境改善活動および社会貢献活動を全社的・継続的に実施展開します。
- 4.顧客要望対応を充実させ、省エネ・環境配慮の高いものづくりを推進します

## ② 環境への取り組み 行動指針

- 1.環境目標の設定と継続的改善  
当社の環境負荷削減のため、環境目標を設定し、目標達成のため全社で取り組みます。また、継続的な改善を図り、環境にやさしい企業を目指します。
- 2.産業廃棄物の削減とリサイクルの推進  
産業廃棄物の分別の推進やリサイクル意識の向上を図ることでリサイクル率を高め、廃棄物総量の削減を推進します。
- 3.CO2排出量の削減と水資源の節約  
空調や照明などの効率的な運用により電力使用量の削減および、社用車のハイブリッド車輛導入やエコ運転の推進等を通じ、CO2排出量削減を推進します。  
また、水道等の水量適正化や連続使用の抑制、節水意識の向上をはかり水資源の利用節減を推進します。
- 4.顧客要望対応の充実による省エネ・環境配慮型製品の製造推進  
お客様からの要望を製品に十分に反映させることで、省エネ・環境配慮型の製品を製造・販売することを推進します。
- 5.法令遵守  
環境関連法令、条例、規制を遵守し、社会の一員としての責務を果たします。
- 6.近隣および社会との共存共栄  
環境教育や啓蒙活動などの環境活動を通じ、全社員の環境意識の向上に努め近隣地域ならびに社会との良好な関係を育み、共存共栄に努めます。

制定： 2016年 4月 1日

改定： 2018年 4月 1日

株式会社 サン電材社

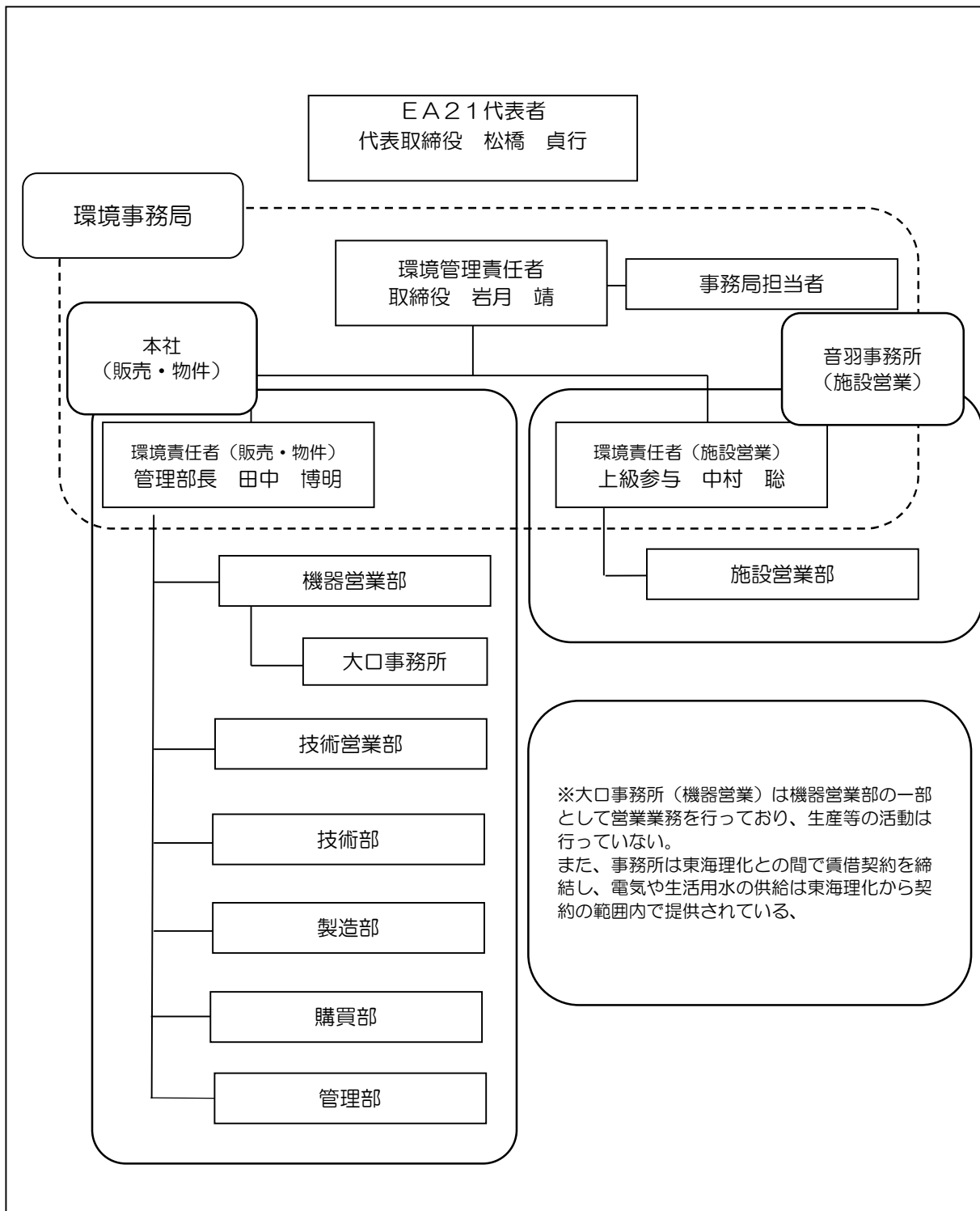
代表取締役 松橋 貞行

# 事業概要

事業者	株式会社 サン電材社
本社所在地	愛知県豊橋市西幸町字浜池331番地7
代表者	代表取締役 松橋 貞行
事業内容	産業用機械（自動機・検査機）及び 試験機的设计・製造・販売・メンテナンス 電機・機械部品の販売 建設工事の営業および施工管理（音羽事務所）
事業拠点	本社工場・事務所 〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池331番地7 TEL：0532-38-5631（代表） FAX：0532-38-5682 事業所延べ面積：5580㎡ 建物面積 4011㎡ 音羽事務所 〒441-0295 愛知県豊川市赤坂町平山1番地 TEL：080-6978-1941（中村） FAX：0533-88-3098 事務所延べ面積：30㎡
事業の規模	事業期間 第50期（2022年4月～2023年3月） 売上高：5,886百万円（内 製作物：1,652百万円）
従業員数	104名（2023年3月31日時点） 内：本社 94名（正社員74名 パート・嘱託20名） 音羽事務所10名（正社員9名・嘱託1名）
環境管理責任者	取締役 機器営業部長 岩月 靖 TEL：0532-38-5633 FAX：0532-38-5682 E-mail：y.iwatsuki@sandenzai.co.jp
EA21推進事務局 （連絡先担当者）	管理部 室川 研児 TEL：0532-38-5633 FAX：0532-38-5682 E-mail：k.murokawa@sandenzai.co.jp
対象範囲 （承認・登録範囲）	本社工場・事務所および音羽事務所

# 実施体制

## ① 組織図



作成： 2020年10月30日

改訂： 2021年6月1日

# 3.実施体制

## ② 役割と責任、権限

役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境経営に関する統括責任</li> <li>• 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等の準備</li> <li>• 環境管理責任者を任命</li> <li>• 環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>• 環境経営方針の策定</li> <li>• 代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>• 環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>• 環境関連法規等の取りまとめを承認</li> <li>• 環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>• 環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>• 環境経営方針の全従業員への周知</li> <li>• 環境経営レポートの確認</li> <li>• 審査結果及び是正措置等の代表者への報告</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 の推進</li> <li>• 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>• 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>• 環境経営の実績集計</li> <li>• 環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>• 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>• 環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>• 環境経営レポートの作成、公開</li> <li>• 環境重要設備の手順書作成及び運用管理</li> <li>• 特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成</li> </ul>
環境責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 拠点における環境経営システムの実施</li> <li>• 拠点における環境経営方針の周知</li> <li>• 拠点の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>• 拠点に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>• 拠点の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>• 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

# 4.環境経営目標と実績

## ① 環境経営目標と実績

(1) 全社合計（数値目標を立て管理している項目）

環境経営目標 項目		単位	2020年度	2021年度	2022年度	
① 二酸化炭素 総排出量	電力消費によるもの	kg-CO <sub>2</sub>	136,433	158,004	140,514	
	化石燃料消費に よるもの		ガソリン	77,518	80,439	75,444
			軽油	7,630	7,976	7,814
	排出量合計		221,581	246,419	223,771	

・二酸化炭素排出量 排出係数

項目	排出係数
電力消費によるもの※	0.459kg-CO <sub>2</sub> /kWh
ガソリンによるもの	2.320kg-CO <sub>2</sub> /L
軽油によるもの	2.580kg-CO <sub>2</sub> /L

※電力量に係るCO<sub>2</sub>排出係数…環境省「電気事業者別排出係数 令和5年度」公表値のうち、

鈴与電力株式会社の基礎排出係数を使用。今後は調整後排出係数を適用します。

環境経営目標 項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
② 廃プラスチック排出量	トン	2.62	1.83	1.63
③ その他の産業廃棄物 排出量	トン	5.07	8.33	7.14

## 4.環境経営目標と実績

### ① 環境経営目標と実績

#### (2) 本社（数値目標を立て管理している項目）

環境経営目標 項目			単位	2020年度	2021年度	2022年度
① 二酸化炭素 総排出量	電力消費によるもの		kg-CO <sub>2</sub>	136,433	158,004	140,514
	化石燃料消費に よるもの	ガソリン		72,059	68,527	68,117
		軽油		7,630	7,976	7,768
	排出量合計			216,122	234,507	216,399

環境経営目標 項目		単位	2020年度	2021年度	2022年度
② 廃プラスチック排出量		トン	2.62	1.83	1.63
③ その他の産業廃棄物 排出量		トン	5.07	8.33	7.14

#### (3) 音羽事務所（数値目標を立て管理している項目）

環境経営目標 項目			単位	2020年度	2021年度	2022年度
① 二酸化炭素 総排出量	化石燃料消費に よるもの	ガソリン	kg-CO <sub>2</sub>	5,459	11,912	7,327

#### ・二酸化炭素排出量 排出係数について

項目	排出係数
電力消費によるもの※	0.459kg-CO <sub>2</sub> /kWh
ガソリンによるもの	2.320kg-CO <sub>2</sub> /L
軽油によるもの	2.580kg-CO <sub>2</sub> /L

※電力量に係るCO<sub>2</sub>排出係数 …環境省「電気事業者別排出係数 令和5年度」公表値のうち、  
鈴与電力株式会社の基礎排出係数を使用。

今後は調整後排出係数を適用します。

※ガソリン・軽油にかかる CO<sub>2</sub>排出係数 …経済産業省・国土交通省公表の「ロジスティクス分野における  
CO<sub>2</sub> 排出量算定方法共同ガイドラインVer. 3.1」より適用



## 4.環境経営目標と実績

### ② 2022年度目標実績対比 および達成状況

#### (1) 全社 数値目標

環境経営目標 項目		単位	目標	実績	対目標比	達成	
① 二酸化炭素 総排出量	電力消費によるもの	kg-CO <sub>2</sub>	136,263	140,514	103.1%	△	
	化石燃料消費に よるもの		ガソリン	99,650	75,444	75.7%	○
			軽油	10,518	7,814	74.3%	○
			合計	110,168	83,258	75.6%	○
	合計		246,431	223,772	90.8%	○	

#### ・二酸化炭素排出係数

電力	0.459-CO <sub>2</sub> /kWh	※電力量に係るCO <sub>2</sub> 排出係数…環境省「電気事業者別排出係数 令和5年度」公表値のうち、鈴与電力株式会社の基礎排出係数を使用。今後は調整後排出係数を適用します。
ガソリン	2.32kg-CO <sub>2</sub> /L	
軽油	2.58kg-CO <sub>2</sub> /L	

環境経営目標 項目	単位	目標	実績	対目標比	達成
② 廃プラスチック排出量	トン	2.50	1.63	65.2%	○
③ その他の産業廃棄物排出量	トン	7.06	7.14	101.1%	△

※達成評価 …… ○：達成 △：対目標+10%以内 ×：未達成（対目標+10%超）

## 4.環境経営目標と実績

### ② 2022年度目標実績対比 および達成状況

#### (2) 本社 数値目標

環境経営目標 項目		単位	目標	実績	対目標比	達成	
① 二酸化炭素 総排出量	電力消費によるもの	kg-CO <sub>2</sub>	136,263	140,514	103.1%	△	
	化石燃料消費に よるもの		ガソリン	85,355	68,117	79.8%	○
			軽油	10,518	7,814	74.3%	○
			合計	95,873	75,931	79.2%	○
	合計		232,136	216,445	93.2%	○	

環境経営目標 項目	単位	目標	実績	対目標比	達成
② 廃プラスチック排出量	トン	2.50	1.63	65.2%	○

③ その他の産業廃棄物排出量	トン	7.06	7.14	101.1%	△
----------------	----	------	------	--------	---

#### (3) 音羽事務所 数値目標

環境経営目標 項目		単位	目標	実績	対目標比	達成
① 二酸化炭素 総排出量	化石燃料消費に よるもの ガソリン	kg-CO <sub>2</sub>	14,295	7,327	51.3%	○

※達成評価 …… ○：達成 △：対目標+10%以内 ×：未達成（対目標+10%超）

#### ・二酸化炭素排出量 排出係数について

項目	排出係数
電力消費によるもの※	0.459kg-CO <sub>2</sub> /kWh
ガソリンによるもの	2.320kg-CO <sub>2</sub> /L
軽油によるもの	2.580kg-CO <sub>2</sub> /L

※電力量に係るCO<sub>2</sub>排出係数 ……環境省「電気事業者別排出係数 令和5年度」公表値のうち、  
鈴与電力株式会社の基礎排出係数を使用。  
今後は調整後排出計数を適用します。

※ガソリン・軽油にかかる  
CO<sub>2</sub>排出係数 ……経済産業省・国土交通省公表の「ロジスティクス分野における  
CO<sub>2</sub> 排出量算定方法共同ガイドラインVer. 3.1」より適用

## 4.環境経営目標と実績

### ② 2022年度目標実績対比 および達成状況

#### (4) 定性目標かかる活動と成果

項目	活動内容	成果
古紙・ダンボールリサイクル推進 (対象：本社・音羽)	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙、ダンボール分別活動を継続</li> <li>… 分別状況の定期確認・情報発信</li> <li>紙の利用量削減</li> <li>… 申請等の電子化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙収集量の安定的増加 前年度 9.3t → 9.7t</li> <li>ワークフロー活用の推進 購入要望書等に利用 今後拡大</li> </ul>
水道使用量の維持 (対象：本社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動水栓利用による、生活用水利用量の安定化</li> <li>節水啓蒙活動の継続</li> </ul>	水道使用量50~60m <sup>3</sup> /月の利用で安定的に推移。臨時利用以外の過剰な水道利用を抑制している。
危険物・化学物質の適正管理 (対象：本社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在庫の発注点管理による過剰購入や在庫滞留の抑制</li> <li>「化学物質棚卸」を年2回実施</li> <li>使途不明・余剰在庫の排除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質棚卸による数量管理継続 (指定数量0.2未満を維持)</li> <li>化学物質（有機溶剤）の受払管理実施（盗難・過剰利用の防止）</li> </ul>

※ 目標「顧客要望対応の充実による省エネ・環境配慮・顧客満足度の高いものづくりの推進」については、特別な活動を実施したり、特定の成果を得られるものではないが、日々の経営・業務を通じ、お客様満足度を向上させる活動を実施することで業績の向上やお客様の信頼度を高めることに寄与している。

<参考：目標に掲げている活動内容>

技術・製造関連会議を通じたQCD活動による顧客満足度の向上

- ・物件進捗会議、技術製造会議の 定例開催と会議内容のフィードバック
- ・顧客要望に基づく製造を通じた環境への貢献（省人化、省エネ化など）。

## 4.環境経営目標と実績

### ③ 2022年度 数値目標評価と要因分析

#### 1) 2021年度からの変化点

項目	詳細
景気回復鈍化による売上減	
空調整備の更新	3階・4階の空調設備を更新した。

#### 2) 2022年度環境経営計画と活動

項目	環境経営計画と活動	
二酸化炭素 排出原単位 削減	電力	室温パトロール継続実施・3・4階空調更新・デマンド監視
	ガソリン	移動コスト削減（東海理化本社に事務所スペース確保）・HV活用最適化
	軽油	エコドライブの推進・啓蒙（アイドリングストップ等）
産業廃棄物排出抑制	混合廃棄物のリサイクル推進・廃プラスチック資源化の働きかけ	

#### 3) 評価と要因分析

環境経営目標	項目	対目標	達成	要因
① 二酸化炭素 排出量	電力	103.1%	△	空調更新による省エネ効果と酷暑厳冬による空調稼働増加が相殺
	化石燃料	75.6%	○	目標過少・リモート等定着による移動機会減
② 廃プラスチック排出量		65.2%	○	・売上減少による仕入減少 ・梱包材リサイクルによる排出減
③ その他の産業廃棄物排出量		101.1%	△	4階管理部2S活動による事務器の排出増が影響

※達成評価 …… ○：達成 △：対目標+10%以内 ×：未達成（対目標+10%超）

#### 4) 是正

##### (1) 二酸化炭素排出量

要因	【電力】天候による空調稼働率の増減が予測しづらく、前年実績比で計画を策定しているため、気候変動により目標達成・未達が左右される。 【化石燃料】「基準年度より〇%減」では目標が過少（指摘あり）。
是正	目標値の設定方針を変更した。本年度はコロナ禍の影響が減少し、売上増加の見通し=企業活動の回復が見込まれるため、稼働増加による影響を目標に織り込む。 前年度目標未達 …… 前年実績の▲1% 前年度目標達成 …… 売上増による排出量等の成行増加を「前年比+4%」と想定（売上増加率）し、成行増から1%改善することを目標とする（=前年+3%に抑制）

##### (2) その他産業廃棄物排出量

要因	2S活動による産業廃棄物排出量を目標値に折り込めなかった。
是正	資源として排出できるものもあったので、リサイクルするよう工夫する。

# 4.環境経営目標と実績

## ④ 2023年度目標（単年度）

### 1) 全社目標

#### ・数値目標

環境経営目標 項目		単位	目標	目標基準	
① 二酸化炭素 総排出量※	電力消費によるもの	kg-CO <sub>2</sub>	139,036	電力使用量 前年実績1%削減 電力量のCO <sub>2</sub> 排出量換算値	
	化石燃料消費に よるもの		ガソリン	78,316	前年利用実績の+3%に 使用量を抑制する。 ※アフターコロナの 業績回復を考慮
			軽油	7,590	
			合計	85,906	
総排出量合計		224,942	—		
② 産業廃棄物の 排出抑制	廃プラスチック	トン	1.63	前年利用実績の+3%に 排出量を抑制する。	
	その他の産業廃棄物		7.45	前年排出量 1%減	

※二酸化炭素排出係数 電力：0.459kg-CO<sub>2</sub>/kWh ガソリン：2.32kg-CO<sub>2</sub>/L 軽油：2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

#### ・定性目標

活動項目	詳細	活動目標
古紙・ダンボール リサイクル推進 (対象：本社・音羽)	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙、ダンボール分別活動を継続 … 分別状況の定期確認・情報発信</li> <li>紙の利用量削減 … 申請等の電子化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙収集量の安定的増加 (前年度 9.7t)</li> <li>申請（総務・経理）の 電子化を一層推進させる。</li> </ul>
水道使用量の維持 (対象：本社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動水栓利用による、生活用水 利用量の安定化</li> <li>節水啓蒙活動の継続</li> </ul>	水道使用量の安定化を維持推進 (年間630m <sup>3</sup> 目安)
危険物・化学物質の 適正管理 (対象：本社)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在庫の発注点管理による 過剰購入や在庫滞留の抑制</li> <li>「化学物質棚卸」を年2回実施 用途不明・余剰在庫の排除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質棚卸による数量管理継続</li> <li>化学物質（有機溶剤）の受払管理 を継続する。</li> </ul>
顧客要望対応の充実による 省エネ・環境配慮 ・顧客満足度の高い ものづくりの推進	技術・製造関連会議を通じたQCD活動 による顧客満足度の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>物件進捗会議、技術製造会議の 定例開催と会議内容のフィードバック</li> <li>顧客要望に基づく製造を通じた環境への貢献（省人化、省エネ化など）。</li> </ul>	

# 4.環境負荷 環境経営目標と実績

## ④ 2023年度目標（単年度）

### 2) 本社

・数値目標

環境経営目標 項目		単位	目標	
① 二酸化炭素 総排出量※	電力消費によるもの	kg-CO <sub>2</sub>	139,036	
	化石燃料消費に よるもの		ガソリン	70,660
			軽油	7,590
			合計	78,250
	総排出量合計		217,286	
② 産業廃棄物の 排出抑制	廃プラスチック	トン	1.63	
	その他の産業廃棄物		7.45	

・定性目標

活動項目	詳細
古紙・ダンボールの リサイクル推進・継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙、ダンボール分別活動を継続（分別状況の定期的確認・情報展開）</li> <li>紙の利用量削減 … 申請等の電子化</li> </ul>
水道使用量の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>節水呼びかけ等の啓蒙活動を継続</li> </ul>
危険物・化学物質の 適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定数量倍数の維持（0.2未満） …… 在庫数量制限の維持、発注点管理による過剰在庫抑制</li> <li>管理状況の定期的確認（現地確認および「化学物質棚卸（年二回）」実施）</li> </ul>
顧客要望対応の充実による 省エネ・環境配慮・顧客満 足度の高いものづくりの推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術・製造関連会議を通じたQCD活動による顧客満足度の向上</li> <li>物件進捗会議、技術製造会議の定例開催と会議内容のフィードバック</li> <li>顧客要望に基づく省人化、省エネ化の製造を通じた環境への貢献</li> </ul>

### 3) 音羽事務所

・数値目標

環境経営目標 項目	単位	目標
① 二酸化炭素総排出量※	ガソリン kg-CO <sub>2</sub>	7,656

・定性目標

活動項目	詳細
古紙・ダンボールの リサイクル推進・継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙、ダンボール分別活動を継続（分別状況の定期的確認・情報展開）</li> <li>紙の利用量削減 … 申請等の電子化</li> </ul>
顧客要望対応の充実による 省エネ・環境配慮・顧客満 足度の高いものづくりの推 進	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術・製造関連会議を通じたQCD活動による顧客満足度の向上</li> <li>物件進捗会議、技術製造会議の定例開催と会議内容のフィードバック</li> <li>顧客要望に基づく省人化、省エネ化の製造を通じた環境への貢献</li> </ul>

※二酸化炭素排出係数

電力：0.459kg-CO<sub>2</sub>/kWh ガソリン：2.32kg-CO<sub>2</sub>/L 軽油：2.58kg-CO<sub>2</sub>/L

# 5.環境経営計画

項目		計画の内容	責任者	日程
二酸化炭素 排出量削減	電力	電力デマンド装置による電力利用監視・ 電力需要期の空調運転管理	管理部 (田中・岩月)	2024/3/31 継続活動
		太陽光発電システムの増設 ・増築工場屋根に設置 発電能力66kW	管理部 (田中・岩月)	2023/9/30 稼働開始
	ガソリン ・軽油	東海理化本社に事務所スペース確保 (移動コスト削減)	田中・岩月	2024/3/31 継続活動
		利用距離に応じたHV車輛配車 (HV活用最適化)	田中・岩月	2024/3/31 継続活動
産業廃棄物 排出抑制	廃プラスチック	緩衝材（エアクッション等）の再利用推進	田中・岩月	2024/3/31 継続活動
	その他廃棄物	混合廃棄物のリサイクル推進 ・スクラップ（古い機材・事務機等）引取可能業者選定 ・資源（金属など）分別の推進	田中・岩月	2024/3/31 継続活動
一般廃棄物 排出量維持抑制	古紙リサイクル活動の推進 (リサイクル排出種類増 など)	田中・岩月	2024/3/31 継続活動	
節水	節水の啓蒙（手洗い等適切な範囲内の水道使用）	田中・岩月	2024/3/31 継続活動	
化学物質の 適正管理	化学物質 仕入（保管）量の上限設定・かんばん等を利用した発注点管理	関川	2024/3/31 継続活動	
	化学物資棚卸の定期的実施と結果に基づく上限数量の見なおし（2回/年）	関川	2024/3/31 継続活動	
顧客要望対応の充実による省エネ・環境配慮・顧客満足度の高いものづくりの推進	技術・製造関連会議を通じたQCD活動 による顧客満足度の向上 ・物件進捗会議、技術製造会議の 定例開催と会議内容のフィードバック ・顧客要望に基づく製造を通じた環境への貢献（省人化、省エネ化など）。	鈴木（昭）・小林	2024/3/31 継続活動	



## 6.中期環境経営目標（2025年度まで）

### 1) 数値目標

環境経営目標 項目		単位	2023年度	2024年度	2025年度	
① 二酸化炭素 総排出量	電力消費	kg-CO <sub>2</sub>	139,036	134,900	133,551	
	化石 燃料		ガソリン	78,316	77,533	76,758
			軽油	7,590	7,515	7,440
			化石燃料計	85,906	85,048	84,198
	総排出量合計		224,942	219,948	217,749	
② 産業廃棄物の 排出量削減	廃プラスチック	トン	1.63	1.62	1.61	
	その他の廃棄物		7.45	7.38	7.31	

【中期目標の策定について】

環境経営目標 項目	策定基準	
① 二酸化炭素 総排出量の 削減	電力	電力使用量 前年▲1%
	ガソリン	車両（社有車）ガソリン使用 前年▲1%
	軽油	車両（トラック）軽油使用 前年▲1%
②産業廃棄物の 排出量抑制	廃プラスチック その他産廃物	前年排出実績 ▲1%


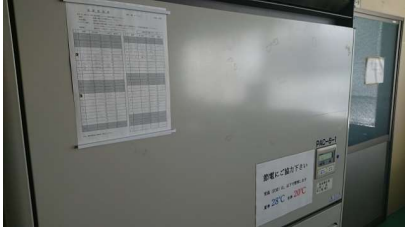

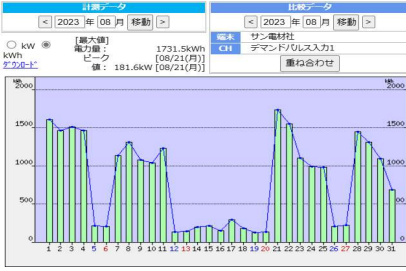

### 2) 定性目標

- ・定性目標項目については、活動内容を継続的に実施する。

目標	詳細
古紙・ダンボールの リサイクル推進・継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古紙、ダンボール分別活動を継続（分別状況の定期的確認・情報展開）</li> <li>・紙の利用量削減 … 社内申請申請等の電子化 さらなる推進</li> </ul>
水道使用量の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節水呼びかけ等の啓蒙活動を継続。</li> <li>水道使用量を安定的に維持する（630m<sup>3</sup>/年を目安）</li> </ul>
危険物・化学物質 の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過剰在庫の抑制：在庫数量管理の継続・かんばん等利用した発注点管理</li> <li>・指定数量倍数 0.2未満での在庫維持：化学物質棚卸の実施（年二回）</li> </ul>
顧客要望対応の充実 による省エネ・環境 配慮・顧客満足度の 高いものづくりの推 進	技術・製造関連会議を通じたQCD活動 による顧客満足度の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・物件進捗会議、技術製造会議の 定例開催と会議内容のフィードバック</li> <li>・顧客要望に基づく製造を通じた環境への貢献（省人化、省エネ化など）。</li> </ul>



## 7.環境改善事例

番号	取り組み	事例写真	詳細
1	古紙リサイクルの推進・拡大 (継続活動)		<p>古紙リサイクルの排出範囲を拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな紙ごみもリサイクル化</li> <li>・シュレッダーごみのリサイクル排出</li> </ul> <p>一般廃棄物として排出していた紙ごみをリサイクル化することで、一般廃棄物排出量の減少につながりました。</p>
2	空調運転の最適化 (継続活動)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日2回、事業場の室温および空調の設定温度を確認。 夏季室温28℃・冬季室温20℃になるよう調整しています。</li> </ul> <p>(2019年度より活動継続)</p>
3	空調機器の更新		<p>現社屋設立時(2007年)に設置した空調機器の経年劣化による効率低下解消のため空調機器を更新しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年5月：4階設計室・営業室</li> <li>・2022年11月：3階全域</li> </ul> <p>→省エネ型空調採用による電力使用の改善が期待されます。</p>
4	電力デマンド監視装置による電力使用量管理		<p>「電力デマンド監視装置」を設置。電力使用量および最大電力需要の見える化を実施し、冬・夏の空調稼働時期の電力調整を実施し、省エネを推進しています。</p>
5	汐入干潟清掃活動への継続参加		<p>豊橋市主催の「汐入干潟クリーンアップ大作戦」に昨年に引き続き参加。三河湾奥部にのこる干潟に流れ着くプラスチック等のごみを清掃しました。</p> <p>(2018年度より継続参加)</p>

# 8.法規・法令順守状況

## ・主な法規・法令順守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令・法規に関し関連する各機関からの指摘についても過去3年間ありませんでした。

確認日 2023年3月31日  
 確認者 環境管理責任者 岩月 靖

法規・法令	条文	規程	遵守内容	判定	状況
騒音規制法	法4・5	都道府県知事が定める基準	騒音規制基準の順守	○	騒音状況：全時間帯で規制値内
振動規制法	法5	都道府県知事が定める基準	振動規制基準の順守	○	振動状況：全時間帯で規制値内
フロン排出抑制法	法16	告示2-1	管理第一種特定製品の簡易点検及び専門点検	○	保守業者による年次点検および簡易点検（外観検査）実施
	法16	告示2-2	一定規模以上の管理第一種特定製品の定期点検	○	保守業者による年次点検実施
	法16	告示4	管理第一種特定製品の点検及び整備に係る記録等に関する事項	○	製品毎に点検記録簿整備 点検時毎、点検記録記載
浄化槽法	法8・9・10	規2・3・6	浄化槽の保守点検及び清掃	○	清掃（年一回）2022年7月 点検（年4回）実施
	法11	規9	法定検査の受検	○	2022年10月受検
廃棄物処理法	法12	規8	廃棄物管理および処理委託関連	○	法逸脱なし。 周辺住民からの苦情なし。
	法12-3-1・6	—	マニフェスト交付義務および交付一覧提出	○	廃棄物委託の度にマニフェスト交付。 交付一覧表を2023年4月提出
労働安全衛生法	法11・12	安衛則4・7・16	安全管理者・衛生管理者の選任	○	各1名ずつ選任
	法16	安衛則16 有機則16	作業責任者の専任（有機溶剤）	○	1名選任
消防法	法9-3	—	指定数量未満の危険物の貯蔵・取扱	○	指定数量1/5未満を維持している
毒物及び劇物取締法	法11	—	対象薬品の貯蔵・盗難紛失対策	○	施錠管理・数量管理を実施
廃棄物の適正処理促進条例（愛知県条例）	条例7-1	規3	委託契約業者の定期的な確認	○	各社年一回実施している。

# 9.外部コミュニケーションの記録

## I.外部からの苦情の受付状況

2022年4月1日～2023年3月31日における周辺住民および外部機関からの苦情はありませんでした。

## II.利害関係者との訴訟・紛争等

2022年4月1日～2023年3月31日において当社の利害関係者との間に訴訟や紛争等の発生はありませんでした。

確認日

2023年4月1日

確認者

環境管理責任者 岩月 靖

---

# 10.代表者による全体評価と見直し

2022年度は前年度に引き続きエコアクション21の「2017年版ガイドライン」が適用され、経営における課題とチャンスとを認識した環境経営目標に基づき活動を進めてまいりました。

## I.全体評価

### ① 環境負荷低減

#### 1) 二酸化炭素排出量

二酸化炭素総排出量については、目標に対し90.3%と目標を達成しました。

電力使用にかかる二酸化炭素総排出量については、3階および4階の空調を省エネ型のものに更新し、電力使用量の抑制を目論見ましたが、夏・冬の気候が厳しく、また年度末の納品にかかる稼働が増加し、目標に比べ103.1%と超過しております。

化石燃料にかかる二酸化炭素排出量については、リモート会議の体制整備や大口顧客との営業連絡先設置など移動機会低減のための施策が定着化し、目標に比べ75.6%減少いたしました。

#### 2) 産業廃棄物排出量

廃プラスチック排出量は目標に対し65.2%の減少になりました。

前年と比べ業績が停滞し、仕入が減少し梱包材の排出が減少したこと、緩衝材のリサイクルが定着したことが寄与しているものと推察されます。

その他産業廃棄物の排出量は目標に対し101.1%となりました。

4階事務所の什器（書類棚等）を更新した際、計画外の排出品が発生したことが原因です。

### ② 定性目標に対する活動

本年度より「活動評価が適切なもの」について、定性目標を設定いたしました。

古紙・段ボールのリサイクル推進、水道使用量の維持と節水活動、危険物や化学物質の適正管理を推進・改善し「環境経営方針」に乗っ取った職場づくりを行っています。

### ③ 顧客要望対応

「経営における課題とチャンス」で認識した「顧客要望対応」につきましては、技術・製造部門の全体会合から各受注案件に関する個別打ち合わせに至るまで、顧客要望に基づいた省力化・省エネルギー化の検討を実施することで、顧客満足度の向上に努めております。

### ④ 法規・法令順守およびコミュニケーション

環境法令違反や環境ヒヤリハット、近隣住民等からの環境に関する苦情はありませんでした。

## II.見直しと総括

環境経営方針については、2018年4月1日改定分について検討いたしましたところ、改定変更の必要なしと判断いたしました。実施体制につきましても検討の結果、変更の必要はございません。

環境経営目標については、目標の達成が可能になるよう評価レベル、評価方法および環境経営計画の見直しを行うよう環境事務局へ指示いたしました。

新型コロナウイルス感染症に対する制限が緩和され、景気回復への期待が高まる中、経営資源の最適な運用と環境配慮型の経営を通じ、顧客要望に全力で対応し業績向上に努めてまいります。

2023年 5月 25日

株式会社 サン電材社

代表取締役 松橋 貞行